

女子美術大学美術館（女子美アートミュージアム）

女子美術大学は「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」を建学の精神として、1900年の創立以来、今日まで多くのアーティストやデザイナー、教育者を輩出してきました。美術館では「美」「知」「技」の教育研究資源としての芸術品や工芸品、歴史資料など、時代や文化を越えた幅広い分野を対象に収集し公開しています。

1. 美術館の沿革

グローバルな時代を迎えて、今後も女子美術大学が教育・研究の拠点としてその役割を果たせるよう、学術研究を推し進め、社会に貢献する美術館として1994年に博物館相当施設の指定を受け、2001年10月に「創立100周年記念棟」として美術館（女子美アートミュージアム）が開館いたしました。

2. 美術館の特色

女子美術大学の教育理念に則り美術館では、教育・研究活動を行う施設であると同時に博物館法に定める大学付属美術館として、地域社会に対して美術・芸術の普及活動を行うことを趣旨としています。特に、片岡球子や三岸節子など本学出身でゆかりの深い作家の作品を収蔵する美術館コレクションと、2009年に旧カネボウコレクションを所蔵したことにより古代から現代まで12,000点にも及ぶ日本の小袖や世界の染織品を網羅した、国内最大級の女子美染織コレクションを収蔵しています。これらの2つのコレクションを柱とし、企画展を含めた展覧会や学内外の学生の教育成果を発表する展示を年間を通して開催しています。その他、美術資料、工芸品、歴史資料など幅広い調査研究・収集・保存等を特色としています。

3. 地域文化とのかかわり

美術館は神奈川県立相模原公園と市立相模原麻溝公園に隣接し、豊かな自然と美術が融合する恵まれた環境の中にあります。美術館開設時に地元相模原市との文化促進協定の締結で、講演会やギャラリートーク、ワークショップなどの教育普及活動を通して市民との交流を深め、地域社会の人々に親しまれる美術館となっています。美術館の活動方針の一つに「市民との触れ合いを深め、地域との美術振興に貢献する」ことをうたっており、毎年、相模原市教育委員会とタイアップして公立小・中学校の児童・生徒の作品展「さがみ風っ子展」を開催し、多くの方々に鑑賞いただいています。女子美術大学の附置施設として、美術教育・研究の拠点として学術的な研究を通して、美術振興と作家活動の支援に貢献しています。

4. ご利用案内

開館時間 10:00～17:00（入館16:30）
 休館日 日曜日・祝日・展示替期間（ただし展覧会に応じて特別開館あり）
 入館料 展覧会ごとに定めます。
 問合せ先 042-778-6801
 交通アクセス 小田急線相模大野北口3番バス乗り場、JR横浜線古淵駅2番バス乗り場から「女子美術大学」行き神奈川中央交通バス。お車の場合、隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください。

